## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	tory of Academic resouces				
	北方領土問題の解決に向けて:諸外国の領土問題の事例研究を通じた多面的アプローチ				
Sub Title	For the solution of Northern Territories issue : the multifaceted approach through the case studies of the territorial problem of foreign countries				
Author	廣瀬,陽子(Hirose, Yoko)				
Publisher	慶應義塾大学				
Publication year	2020				
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)				
JaLC DOI Abstract	日本とロシア(ソ連)は、隣面であるにもかからず、平和友好条約を結んでいないというある 意味異常な関係にある。日露関係の進展を阻むし大沢だ。そもそも、北方領土問題の位置付けは 日素間で大きく異なり、北方領土に対するロシアの実効支配は深まる一方である。そこで、本研 穴は、北方領土問題の「問題の所有」や「現状」を分析するとともに、諸外風の領土問題の保護 や契値の事例などを検討することにより、可能な解決シナリオを多面的に提示し、日露隅係改善 の道筋を半術的に提起することを目的とし、現地調査と文献調査によって研究を造めてきた。 今年度は、ロシアが北方領土問題の大利、インパー戦、情報戦などを組み合わせた軍事戦略で あり、2014年にロシアが近端11日間を、対米、対日ハイブリッド戦争に利用しているという仮説に 基づき、ロシアの理論研究を分析しつつ、ロシアでの現地調査を行った。 ハイブリッド戦争とは、正規戦、非正規戦、サイバー戦、情報戦などを組み合わせた軍事戦略で あり、2014年にロシアが方今イナククリミアを併合したり、つうライナ東部に介入したりした 際に用いられた作戦だとされる。ただ、ロシアでの現地調査を行った。 ハイズリッド戦争とは、正規戦、非正規戦、サイバー戦、情報戦などを組み合わせた軍事戦略で あり、2014年にロシアが近分さイカククリミアを併合したり、つうライナ東部に介入したりした 際に用いられた作戦だとされる。ただ、ロシアではハイブリッド戦争という言葉は使われておら ず、「新世代戦争」などという言葉が使われているだけでなく、ロシアは西側がロシアにハイブ リッド戦争を仕掛けているという理解をしていることが分かった。 そして、2018年11月から日本の安倍総理は北方領土の「私に成してしたれの戦間を出すようになっ た、それとほぼ同時期から、ロシアは歴史認識問題、日米同盟、仮に北方領土が日本に返還さ れた場合に米軍基地が設置されないことの確証、など日本が応じられない戦間を出すようにな返 た、それたの勤きは、ロシアが北方領土問題を対米ないし対日「ハイブリッド戦争」に利日して いるといえ、北方領土問題の解決はより困難になっているという結論に至った。 Japan and Russia (or USSR) are in a somewhat unusual relationship, despite being neighbors, without signing a Treaty of Peace and Friendship. The most serious factor that has hindered the development of Russo-Japanese relations its Northern Territories issue, and it is extremely difficult to hope for further development of Russo-Japanese relations without a solution. In the first place, the position of the Northern Territories issue first sudy analyzes the "realities of the problem" and "the current situation" of the Northern Territories issue and theraise is using the Northern Territories issue for the Russian do Itera typothesis that Russia is using the Northern Territories issue for the Russian do Itera typothesis that Russia is using the Northern Territories issue for the Russian do nthe hypothesis that Russia is using the Northern Territories issue for the Russian do nte eastern UKraine in 2014. However, the Russian do not use the word "hybrid warfare" but warfare" is a military strategy that combines regular war, irregular war, eyberwar, information war				
Notes					

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2019年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	総合政策学部	職名	教授		500 (特B)千円
	氏名	廣瀬 陽子	氏名(英語)	YOKO HIROSE	- 補助額	
北方領土問題0	D解決に向けて	研 ☆ ☆ 研開の領土問題の事例研	究課題(日本語 F究を通じた多可			
		쥯	<b>研究課題(英訳</b>	)		
For the solutior	of Northern T	erritories Issue:				
The multifacete	d approach thr	rough the case studies of the	territorial proble	em of foreign countries		
		1. 7	研究成果実績の	の概要		
展を阻む最大要 展を問題の位置の のして のの のの のの のの た のの のの た のの の の の の の の の の の の の の	長因が、北方領で すけは日露現で、 になり、日露現で、 し、日露現では、 し、日露現で、 し、日露現で、 し、日露現で、 し、日露で、 し、日間で、 し、日の、 し、日の、 し、日の、 し、日の、 し、日の、 し、日の、 し、日の、 し、日の、 し、こ、こ、 こ、こ、こ、 こ、こ、こ、 し、こ、こ、こ、 し、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ	战、非正規戦、サイバー戦、情 ナ東部に介入したりした際に↓ ∳」などという言葉が使われてし	レて、日露関係( するロシアの実 の領土問題の 見起することを 戦 いるだとを 組 み てなく、 2 島返に場合に 領 工 問題を対米	の発展を望むことは極めて難 認効支配は深まる一方である。 遅決や妥協の事例などを検討 目的とし、現地調査と文献調査 しているという仮説に基づき、 い合わせた軍事戦略であり、20 だとされる。ただ、ロシアでは ロシアは西側がロシアにハイ る問題解決を主張し始めたが K軍基地が設置されないことの	しい状況だ。そ 。そこで、本研究 することにより、 をによって研究を ロシアの理論 014年にロシア ブリッド戦争を 、それとほぼ同 の確証、など日	もそも、北方領土シ には、北ななきた。 一方の がから、 がから、 にの がから、 にの がら にの で が た の の の の た の の の た の の の た の の の た の の の た の の の た の の の た の の の た の の の か た の の の の の か か た の の の の の の の の の の の の の
			。 成果実績の概要	医(革乳)		
and Friendship. issue, and it is the position of Territories is or Territories issu have been cond In 2019, I co Northern Territ "Hybrid war when Russia an but use "new g performing "hyb Then, Japar November 2018 WWII, quit the some island will I analyzed that	The most seri extremely diffi- the Northern T ally deepening. e and examine lucting researce nducted intervor ories issue for fare" is a militanexed Crimea eneration war" orid warfare" and s, but almost a Japan-US allia be returned to Russia is using	R) are in a somewhat unusua ous factor that has hindered cult to hope for further develor rerritories issue differs greatly. Therefore, this study analyzes as possible solutions to the te h through interviews in Russia riews in Russia, analyzing Russ the Russian hybrid warfare ag cary strategy that combines r and intervened in eastern Ukr det. as so-called "hybrid wa gainst Russia. Ster Abe began to insist on s t the same time, Russia began nce, and acquire that the US o Japan. Such Russian request the Northern Territories issue the Territories issue is becoming	the development opment of Russ / between Russ the "realities of erritorial proble and literature sian theoretical ainst the US ar egular war, irre raine in 2014. H rfare." In additi solving the pro- an to stress the S military base ts are really diff e for a "hybrid	nt of Russo-Japanese relation so-Japanese relations withou ia and Japan, and Russia's e of the problem" and "the curr ms in other countries thinkir research. Iresearch based on the hypot ad Japan. gular war, cyberwar, informat owever, the Russian do not u on, the Russian people under olem by returning the two is e necessity that Japan shou will not be built in the north ficult for Japan to accept.	ns is the North t a solution. In ffective control ent situation" of the way of o thesis that Rus ion war, etc., w se the word "h stand that the slands for Japa Id recognize th ern territory in	nern Territories the first place, l over Northern of the Northern compromising. I sia is using the which was used hybrid warfare", West has been n by Russia in e result of the the case that
		3.本社	研究課題に関す	<sup>-</sup> る発表		
発表者 (著者・		発表課題名 (著書名・演題)		発表学術誌名		発行年月 月・講演年月)
廣瀬陽子		プーチンのグランド・ストラテ 「狭間の政治学」――ロシア 学	ジーと 北岡伸	ー・細谷雄一編著『新しい地	2020年2月	
廣瀬 陽子		ー ロシアによるハイブリッド攻撃 威	撃の脅 『治安ス	フォーラム』(25 巻 4 号)	2019 年 4 月号	<del>;</del>
Yoko HIROSE		Russian Hybrid Warfare: Fo on Its Change in Characte and Effects for the Former U	eristics ("TECH	Aleksanteri Conference NOLOGY, CULTURE, AND TY IN THE EURASIAN	25 October University of H	· 2019 at Ielsinki, Finland